

妊婦さんと赤ちゃんを 風しんから守りましょう

妊娠初期に妊婦が風しんに感染すると、“先天性風しん症候群”の赤ちゃんが生まれることがあります。
予防のために大切なことをお伝えします。



現在風しんにかかっているのは、特に30-50代の男性です。
この年代の男性に風しんの免疫を持っていない人が多いからです。

【妊娠している可能性のある女性、妊娠中の女性に注意していただきたいこと】

1. 風しん抗体価を確認してください。
・抗体価が十分にあれば、感染の可能性はありません
【抗体価が低い場合】
➢ 感染予防行動（*）をとりましょう。特に、妊娠20週までの期間は注意が必要です。
（*）できるだけ外出を控える、外出の際は混雑を避け、マスクを着用する、手洗いを励行する
➢ ご自身は風しんワクチン接種を受けられません。（家族や周囲の方がワクチン接種をして、妊婦さんを守りましょう。）
➢ かかりつけの産科医にご相談ください。

【周囲の方に注意していただきたいこと】

1. 妊婦さん（妊娠の可能性のある女性含む）は、風しんワクチン接種ができません。
2. 家族や周囲の方も感染予防行動（ ）をとって下さい。
（ ）咳やくしゃみがある場合は、マスクを着用して、しぶきを飛散させないようにしましょう。手洗いを励行してください。
3. 風しんにかかったことがあるか、ワクチン接種を受けているかを確認して下さい。風しんにかかったことがなく、1歳以上で2回の予防接種の記録がない方には、MR（麻しん風しん）ワクチンの接種をおすすめします。

荒川区予防接種事業をご利用ください！

「妊娠を希望されている方または妊婦さん」と周囲の方に：妊娠を希望されている女性の同居者、風しん抗体価が低いと確認された妊婦の同居者（19歳以上）について、風しんの抗体検査および予防接種の費用を助成しています

18歳までの区民の方に：麻しん風しん予防接種特別対策としてMRワクチン接種全額補助を行っています

お子様のMRワクチン定期接種・・・対象年齢の方は無料です

